



尾関山ファンクラブ通信



会員数 114名
(R1.10.1現在)

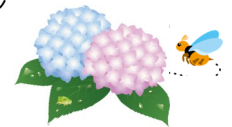
第9回尾関山ファンクラブ作業を実施しました

暑さが和らぎ朝夕は寒いのではと感じられる最近ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

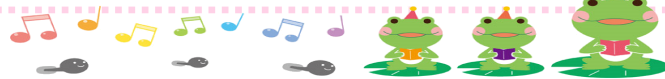
8月30日(金) **7名**の会員が集い第9回尾関山ファンクラブ作業を実施しました。
今回は初の試みで、アジサイの剪定及び今後増やしていくための作業を実施しました。

剪定後のアジサイの花を市役所受付で配布したところ、大人気で当日中に無くなりました。
尾関山のアジサイのように花がきれいな緑になることは珍しいとのことでした。

これからも尾関山のために皆様のご協力をよろしくお願い致します。



アジサイ トリビアの泉



アジサイの花言葉、知ってますか？「移り気」、「傲慢」、「辛抱強い」とネガティブなワードが並びますが、それぞれにきちんと由来があるんです。「移り気」は、アジサイの花は成長に合わせて色を変えていくことから、「傲慢」は、花の青色からイメージされています。「辛抱強い」は、長い雨の中を耐え忍びきれいな花を咲かせ続けてくれることから由来されています。実は、これらの言葉はヨーロッパの花言葉であって、日本の花言葉ではないんです。日本では、「家族団欒」、「団結」、「平和」、「友情」などの、「集まっている」ことをイメージした言葉が多いです。

「集まる」といえば、アジサイの語源は一説によると、「青い花が集まっている」ので、「集める」の意の「あづ」に青の意の「さ藍」で「アツサアイ」（集真藍）から「アジサイ」となったそうです。すてきな語源ですね。

そんな奥が深いアジサイ。開花してからも色が変わり、七変化すると言われている珍しい花なんです。アジサイといえば青や青紫の青系と、ピンクや紫の赤紫系を思い浮かべると思いますが、それぞれ同じ系統で赤と青に確立した種というわけではありません。アジサイの花は、土の酸性度によって青系や赤系に変わります。なので、酸性に傾いた土では青系に、アルカリ性に傾いた土では赤系に変わります。何年か育てたアジサイが、最初とは違う色の花を咲かせるのは、土の酸性度の変化が原因とされるのがほとんどです。

第3回 尾関山ファンクラブ総会（尾関山の桜の勉強会もあります）

日時：11月8日（金曜日） 10時00分～12時00分
場所：三次ふれあい会館（三次コミュニティセンター2F 中ホール）
駐車場：三次ふれあい会館駐車場



第10回 尾関山ファンクラブ作業のお知らせ

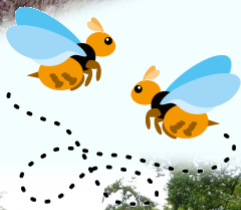
日時：11月8日（金曜日） 13時15分～15時30分
※作業は13時30分から三次小学校児童と実施します。
集合場所：尾関山公園桜土手
作業内容：三次小学校児童と合同でハナナ植え付け作業を行います。
服装等：作業ができる服装、水分補給用に飲み物をご持参ください。
駐車場：尾関山公園駐車場



あじさいフォト 紫陽花Photo

令和元年8月30日(金)

作業



記念撮影

ありがとうございます。



第9回 尾関山ファンクラブ作業

令和元年8月30日(金)

